

梶本 卓也 (かじもと たくや)

【居室番号】 佐渡自然共生センター・演習林

【TEL】 0259-78-2620

【E-mail】 tkaji@agr.niigata-u.ac.jp



【自己紹介】 出身と育ちは大阪（枚方、堺）で、その後、奈良、名古屋、つくば、盛岡、熊本等を転々とし、佐渡にこの4月やって来ました。今までは山の近くに住むことが多かったのですが、演習林まで毎日海を眺めながら通うのはとても新鮮です。

もともと山登りや旅行が好きで、学生時代には国内ではあちこちで沢登りや雪山スキーを楽しみ、またネパール・ヒマラヤにも出かけました。そんな趣味がこうじてか、院生の頃は高山のハイマツの生態を調べたり、カナダの亜寒帯林の調査に参加したりして、樹木や森林がそれぞれの環境でどうやって生きながらえているのか、いわゆる樹木の生存戦略に関心がわくようになりました。

【教 育】今年度は、おもに佐渡演習林で各種野外実習を担当する予定です。

【研 究】この3月までは、(国研)森林総合研究所で樹木や森林の生理生態の研究を行ってきました。フィールドは、東北の亜高山帯林やシベリアの亜寒帯林を対象に、おもに低温や積雪、永久凍土といった厳しい環境下で樹木がどのように成長し、森林を維持しているのか、その仕組みを解明するための研究を行っています。また海外では、南米アマゾンの熱帯林で、持続的な択伐施業が有効かどうか実証する国際共同研究も行っています。

国内の林業をみると、スギやヒノキなどの人工林の多くが、今ちょうど伐採する時期を迎えています。間伐などの手入れが不足したり、切っても植栽できないといった問題を抱えています。こうした問題解決に向けて、苗木の生産や植栽後の下刈り作業について、低コストでかつ労力軽減にもつながる技術開発の研究にも取り組んでいます。

今後は、こうしたテーマを中心に、佐渡島や新潟をはじめ、東北各地の森林をフィールドに選んで、皆さんと一緒に研究することを楽しみにしています。例えば、雪の多い佐渡演習林では、山の上にはスギの天然林が広く分布していますが、このスギの林がどのように成立し維持されてきたのか、その仕組みについてはまだ多くの謎が残されています。野外での観察や調査に、年輪情報の解析なども用いて探してみたいと考えています。

【研究室情報】 \*今年から新設の研究室です。

- ・構成員等の詳細は、佐渡演習林の HP を参照下さい。
- ・研究テーマは、上のような内容以外に、学生からの提案もあります (要相談)。